

ドメスティック・バイオレンス（DV）は夫婦げんかとは違います！

DVとは、配偶者・パートナーなど、親密な関係にある人からの暴力です。ここでいう暴力には、身体的暴力に限らず、さまざまな形態があり、多くは男性から女性にふるわれます。優位な立場の人が弱い立場の人を思い通りに支配するためにふるわれる暴力は、重大な人権侵害であり、許されるものではありません。

暴力の形態

身体的暴力

なぐる、ける、髪を引っ張る
首を絞めるなど

精神的暴力

無視する、大声で怒鳴る、脅す、
罵る、夜通し説教をして眠らせないなど

経済的暴力

生活費を渡さない、家庭の
収入について何も教えない、
家計を厳しく管理するなど

性的暴力

性行為の強要、中絶の強要、暴力的な
性行為、避妊に協力しない、
ポルノなどを無理やり見せるなど

社会的暴力

人間関係や行動を監視する、
電話やメールの内容を監視する、
実家や友人との付き合いを
制限する、外出を禁止するなど

子どもを利用した暴力

子どもの前で暴力を振るう、子どもを
危険な目にあわせる、子どもを取り、
上げる、自分の言いたいことを
子どもに言わせるなど

思い当たることはありませんか？

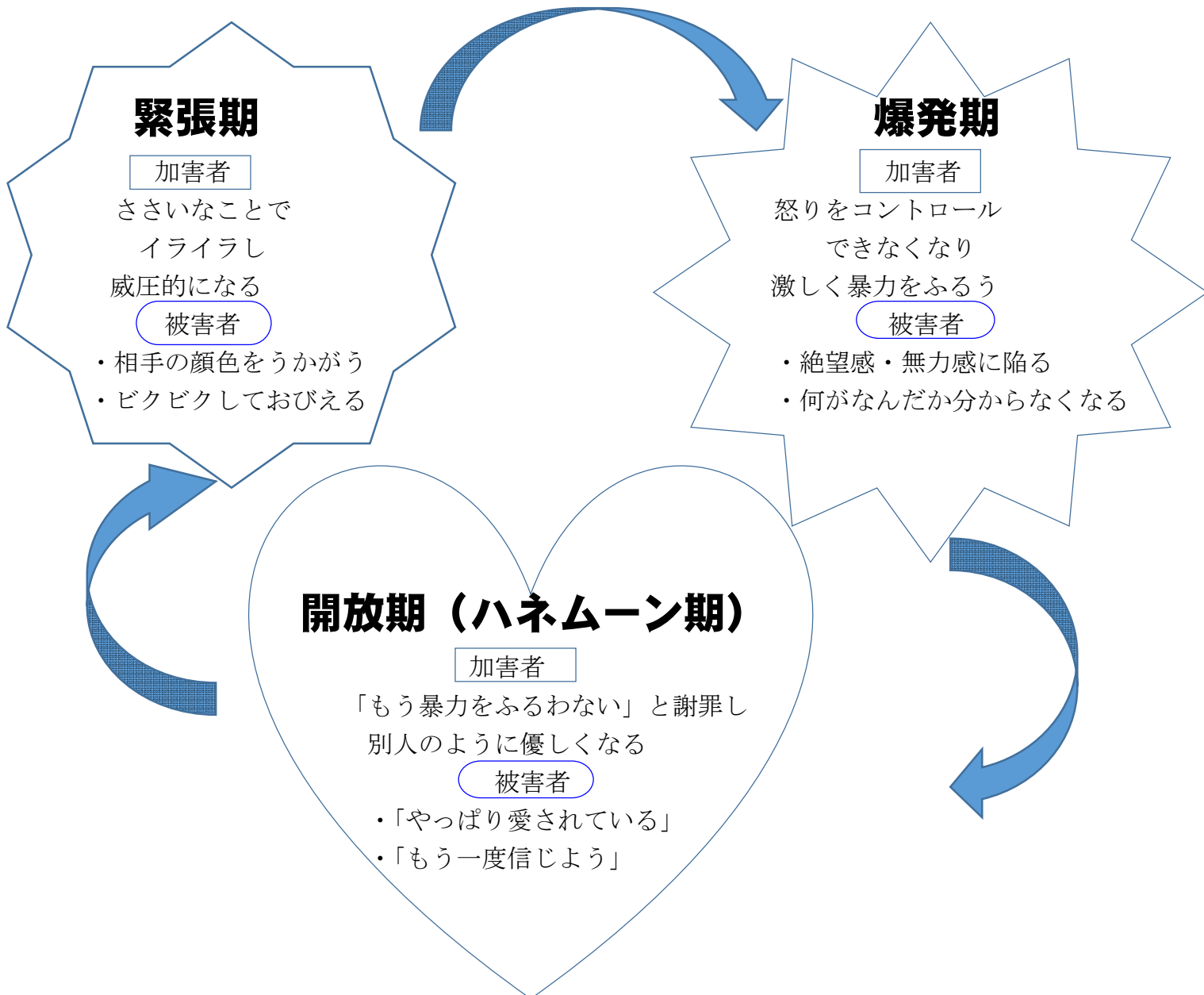
- パートナーのことが怖い
- パートナーに本音が言えない
- 自分のことより、パートナーの考えを優先する
- 間違っていると思っても、パートナーの考えに従っている
- パートナーの帰宅時間が近づくと緊張する
- パートナーからの性行為の要求は断れない
- 子どもがパートナーの気に入らないことをするとあせる

DVにはサイクル（周期）があります

暴力をふるう時期（爆発期）の後は一転して反省の態度を見せたり、優しくなったりする時期（ハネムーン期）があり、それを繰り返します。加害者が優しくなるのは、被害者が離れていくのを防ぐためです。

優しくなる時期には、被害者は「もしかするとこれで変わってくれるのではないか」と期待し、関係を続けてしまいます。

しかし、しばらくすると再び緊張感が増すようになり、暴力が繰り返され、DVのサイクルから抜け出すことが難しくなります。なるべく早いうちに気づくことが大切です。



暴力は繰り返され、次第にサイクルが早くなります。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください。 DV相談ナビ：「#8008」（ハレレバ）